

Challenge 2020

特色ある地域資源を活かしながら、課題を解決し、地域の人々が「住み続けたい」と感じ、他県の人もひきつける、魅力的で人が集う長崎県づくりにつなげていきます。



壱岐地域

めざす姿

古代ロマンを今に伝える歴史遺産、焼酎や豊かな農畜水産物の魅力にあふれ、福岡に近接する優位性を活かして人と人とが活発に交流するとともに、安心して住み続けられるしま



数値目標

延べ宿泊者数 29.8万人 → <b>34.9万人</b> (H26) (H32)	集落営農組織の法人化数 2組織 → <b>21組織</b> (H26) (H32)
第1次産業新規就業者数 20人 → <b>23人/年</b> (H26) 115人 (H28-H32累計)	あじさいネット※閲覧施設数 0施設 → <b>6施設</b> (H26) (H32)

※あじさいネット…地域の拠点となる病院と診療所などの医療機関を結ぶITネットワーク

地域づくりの方向性

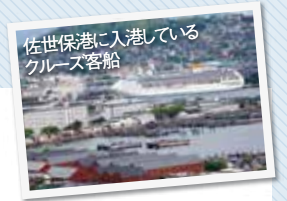
- 地域資源をゴッポリ活かした産業振興で活力あふれるしまづくり**  
体験型観光の定着促進、肉用牛の増頭促進、第1次産業の担い手確保、壱岐焼酎など特産品の福岡都市圏での販路拡大 など
- 壱岐の文化や豊かな自然等、島人の誇りを守り伝えるしまづくり**  
日本遺産である原の辻遺跡など歴史的文化遺産の保存・公開 など
- 豊かな地域資源や自然を活かした環境にやさしい低炭素のしまづくり**  
循環型農業の推進、風力発電や太陽光発電の導入拡大 など
- 住む人がいきいきと安心して暮らせるしまづくり**  
道路や公共交通の整備、航路・航空路運賃の低廉化、あじさいネットの活用、UIターン者の居住対策 など



県北地域

めざす姿

西九州自動車道などの高速交通網の整備や国際港としての佐世保港機能充実を図り、活発な他県や海外との人・物の流れによる、賑わいにあふれ、あらゆる産業が発展する活力ある県北地域



数値目標

観光客延べ数 1,289万人 → <b>1,516万人</b> (H26) (H32)	製造業従業者一人当たり付加価値額 1,157万円 → <b>1,215万円</b> (H24) (H32)	第1次産業新規就業者数 68人 → <b>134人/年</b> (H26) 670人 (H28-H32累計)
---	---	--

地域づくりの方向性

- 福岡県との近接性など県北地域の特性を活かした人が集い、賑わうまちづくり**  
西九州自動車道・西彼杵道路の整備促進、東彼杵道路の早期実現、佐賀県と連携した周遊促進、クルーズ船入港促進 など
- 県北地域ならではの優れた資源を活かした力強い産業拠点づくり**  
工業団地等の整備、三川内焼・波佐見焼の販路拡大、高付加価値船等の建造促進、農林水産業における担い手確保・育成、養殖魚の産地加工の推進 など
- すべての人が安心して生き生きと暮らせる住みよい県北地域づくり**  
「させば未来創造フォーラム」との連携による活力あるまちづくりの推進、救急医療等の確保、石木ダムの建設促進 など



対馬地域

めざす姿

大陸との交流拠点として、さらなる人、モノ、文化の交流拡大を図るとともに、海、森林（もり）、里の資源を活用し、人をひきつける魅力的なしま



数値目標

観光消費額 146億円 → <b>174億円</b> (H26) (H32)	輸出品（水産物・木材等） 7,077トン → <b>9,200トン</b> (H25) (H32)
第1次産業新規就業者数 70人 → <b>81人/年</b> (H26) 405人 (H28-H32累計)	特定健診受診率（市町村国保） 33.9% → <b>65.0%</b> (H25) (H32)

地域づくりの方向性

- 対馬の海、森、里の資源を活かした産業振興等で活力あふれるしまづくり**  
林業の生産性向上、漁業の収益性向上、木材・水産物の輸出促進 など
- 大陸との交流に培われた歴史文化を活かした魅力あるしまづくり**  
朝鮮通信使等の歴史資産活用、対馬博物館（仮称）の整備 など
- 貴重な動植物が生息する「対馬」の豊かな自然との調和を図り、地球環境にやさしいしまづくり**  
野生生物と共存できる地域づくり、次世代型エネルギーの利用促進 など
- 大陸に近い立地を活かした物流・人流が盛んなしまづくり**  
幹線道路等の整備、港湾・空港機能の強化、観光客受入体制の整備 など
- 島民みんなが安心して暮らせるしまづくり**  
健康寿命の延伸、地域包括ケアシステム※の構築 など  
※地域包括ケアシステム…住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組み



五島地域

めざす姿

「椿」「教会」など豊かな自然、優れた歴史的文化的資産や新鮮な農林水産物などの魅力的な物産資源と再生可能エネルギーを活かした、人を呼び込むことができる活力ある五島列島



数値目標

延べ宿泊者 26.0万人 → <b>30.6万人</b> (H26) (H32)	第1次産業新規就業者数 31人 → <b>43人/年</b> (H26) 215人 (H28-H32累計)
--	---

地域づくりの方向性

- 五島独自の歴史・文化・自然を活かした魅力あるしまづくり**  
個人観光客の受入体制整備、農林漁業を活かした体験ツアーの開発 など
- 地域が支え合い愛着をもって住み続けられるしまづくり**  
交通網の整備、公共交通の確保・維持・改善と運賃低廉化 など
- 住みやすい環境を整え、呼び込むことができるしまづくり**  
男女の出会いや出産・育児への支援、UIターン推進、離島留学の推進 など
- 五島の優れた地域資源を活かした産業づくりによる雇用の創出**  
五島うどん、かんころ餅、椿関連商品など物産資源の高付加価値化、養殖クロマグロの振興、二次離島振興策の成功事例の創出 など
- 再生可能エネルギーを活用した新産業の創出**  
浮体式洋上風力発電や潮流発電などを活用した雇用の創出 など

